

はこだてシルバーだより

水辺の宝石

栄田 武志 会員



月下美人

阿久津 貞夫 会員



シルバー会員作品

蜜を求めて

栄田 武志 会員



函館港の客船

阿久津 貞夫 会員



令和6年6月号



夏号 No.135

●”手”が足りない。そんな時はシルバー人材センターへ!

シルバー人材センターの親切・丁寧・確実な仕事振りは必ず皆様のお役に立ちます。

豊かな経験と能力を生かし、幅広いお仕事をいたします!

函館市若松町33番6号(函館市総合福祉センター2階)

電話 (0138)26-3555

FAX (0138)23-7531

E-mail : hakosc@sjc.ne.jp HP : <https://hakosc.com/>

令和6年度 定時総会

令和6年度の定時総会が、5月30日(木)午後1時30分から、函館市芸術ホールで開催されました。冒頭に山本理事長より、「シルバー人材センターを取り巻く社会状況は一層厳しくなっています。コロナ禍の中で全国的に会員の減少や事業量の減少といったことがようやく底を打ちつつありますが、加え昨年10月からインボイス制度が導入、また、11月からはフリーランス新法が施行される予定であり、税法上の取扱いや、契約の在り方が大きく変わっていく転換点に今私たちがいます。そんな中、新事務局体制が本格的にスタートすることとなります。難しい転換点にあってしっかり前を向いて今後も取り組みを進めて行こうと考えておりますので、引き続きご協力をお願い申し上げます」との挨拶がありました。



山本理事長

続いて、長年にわたり、函館市シルバー人材センター事業の振興発展に功績のあった25人の役員表彰及び正会員表彰(会員歴10年以上)が行われ、受賞者を代表して阿久津貞夫様より受賞への感謝と「本日の名誉を契機に、センターの存在と役割を果たして参ります」との決意が述べられました。

次に、来賓として出席された、大泉潤函館市長(代理・氣田聖大経済部部长)及び國井直樹函館公共職業



阿久津会員



受賞者

安定所所長のお二人方から、受賞者への労いとシルバー人材センターの日頃の活動に対する謝意と「市のまちづくり構想や高齢者支援に積極的に取り組んでおり、皆さんも経験や知識を生かし、地域の活性化・発展に貢献されていることに敬意を表したい」とのご祝辞を賜りました。



國井安定所所長



氣田経済部部长

総会は、小野寺敏子さんが議長に選任され、大坂常務理事から「正会員738名、本日の出席者88名、委任状提出は650名で正会員の過半数を超え、総会は成立します」と報告されました。



小野寺議長

議事録署名人に議長の他、山本理事長、平原副理事長、野田理事が指名されました。



山田監事



大坂常務理事

最初に事務局より、報告事項 令和5年度 収支補正予算、第1号議案 令和5年度事業報告・第2号議案 令和5年度決算報告がされ、山田けい子監事から監査報告があった後、第1号、第2号議案及び監査報告について、異議なく了承されました。

次に事務局より、令和6年度事業計画、令和6年度収支予算の以上2件を報告し、第3号議案 定款の一部改正について、会員が年齢を理由とし退会するのではなく、就業外のシルバー事業に参加をし、地域におけるシルバー事業の理解者として活躍を期待すること等を目的とする、また役員の設置については、理事定数を確保が出来ない場合、理事会の機能が停止してしまうリスクを回避するため。第4号議案役員の選任については、前任事務局長の退職に伴い新事務局長で特別会員である林氏について説明、全て異議なく承認されました。

令和6年度定時総会は、小野寺議長の的確な議事運営により、報告、議案がすべて承認され、無事閉会しました。

受賞者の皆様 おめでとうございます

今後とも、健康に留意され知識と経験を活かし、当シルバー人材センターの発展にご協力いただければと思っております。受賞されました皆さま、本当におめでとうございます。

役員表彰	栄田 武志	坂下 稔	阿部 光輝	竹内 鉄平	小野寺 敏子															
会員表彰	西堀 久美子	秋山 清	小野寺 敏子	和田 友子	工藤 俊明	横山 元	岡島 富雄	亀谷 敏正												
	桜花 謙吉	島崎 貴子	齊藤 邦子	佐藤 彰	森山 優	池田 直喜	林 恭子	河瀬 郁子												
	阿久津 貞夫	田中 一彦	石川 了一	小坂 富美雄																(入会順25名)

令和6年度 表彰受賞者インタビュー

令和6年度表彰受賞者25名を代表して、正会員の田中一彦さん、石川了一さんから、シルバー人材センターに入会され10年を迎えられた今のお気持ちと、シルバー会員としての今後の抱負をお聞きしました。

Q 田中(一彦)さんがシルバー人材センターへ入会されたきっかけをお聞かせください。

市内の建築会社に67歳まで勤務し、その後資格を生かそうと動いておりましたがなかなか決まらず、以前から存じ上げておりましたシルバー人材センターの事を思い出し、即入会した次第です。



田中一彦さん

Q 現在、働いているお仕事のこと、シルバーの仕事を通して良かったと思われたことをお聞かせください。

シルバー人材センターに入会して、すぐに市営スケート場の仕事を紹介していただき、その後は、四季の杜公園の遊戯や自転車乗りの見守り、また、除草等の公園管理の仕事に就きもう10年になります。シルバーの仕事をして良かったことは、世の中とのつながりができることかな。何か人の為になることをと思いつつも、振り返ってみると健康で働けるということは自分の為だなあ(笑)と思います。

Q 日頃から田中さんが心がけていること、これからの目標をお聞かせください。

くよくよすることや悲観的なことは全く無く、もうすぐ80歳になる私ですが、いやなことはすぐ忘れることにしています。このような性格に育ててくれた親に感謝です。これからの目標は、願わくは、後3年くらいシルバーの仕事頑張っていきたいと思っています。



石川了一さん

Q 石川(了一)さんがシルバー人材センターへ入会されたきっかけをお聞かせください。

「シルバー人材センターの除雪要員の急募」という道新の記事を見て入会しました。12月でしたので、早速団地の除雪に就きました。数年前の大雪の年は朝6時から午後2時頃まで除雪にかかったことがありました。

Q とてもお元気な印象をうけましたが、お仕事がない時はどのようにお過ごしですか。

私が携わっている除雪の仕事は、いつ雪が降ってくるかわかりませんので、冬は仕事に専念し、夏は登山を楽しんでいます。実は、除雪作業は体力作りにもなっています。夏山の初登山は利尻山で、百山目は屋久島で、日本百名山を踏破しました。

Q 日頃から心がけていることや、これからの目標をお聞かせください。

登山は訓練なしでは登れませんので、日頃から健康には気をつけて訓練に励んでいます。最近、娘のために我が家の系図を調べ記録し仕事や趣味など、頑張ってきたことや挑戦してきたことなど私の過去について書き留めています。

「お二人とも終始笑顔で、誠実に答えていただき、お人柄を感じました。これからもシルバー会員として益々のご活躍をお祈りいたします。」

「第7回理事会」報告 3月26日開催

★報告事項

- (1)令和5年度 事業実績報告(2月末現在)について
- (2)令和6年度 会員継続調査結果について
- (3)令和6年度 事務局体制について
- (4)その他

★協議事項

- (1)令和5年度 補正予算(案)について
- (2)公益社団法人函館市シルバー人材センター職員給与規定の一部改正(案)について
- (3)令和6年度 収支予算(案)について
- (4)令和6年度 長期就業会員(案)について
- (5)令和6年度 理事・監事選任選考委員会(案)について
- (6)令和6年度 正会員及び役員表彰受賞候補者(案)について
- (7)その他

主な内容は次のとおりです。

◎報告事項

- 月別事業実績(請負+派遣)2月末 266,515,697円で前年度とほぼ同額となった。
- この4月から事務局の体制が変更となり、事務局長林優子、事務局次長桑原一旗と共に昇進とする。

◎協議事項

- 経常収益計 363,929,000円
経常費用計 365,348,000円の見込みとなる。
- 理事・監事選任選考委員会について、3名の委員で承認をえる。
- 役員表彰は5名、正会員表彰は20名が該当者となる。

以上、報告事項、協議事項を審議し承認されました。

「第1回理事会」報告 4月26日開催

★報告事項

- (1)正特会員及び賛助会員の入会について(令和6年1月~3月)
- (2)事業運営状況報告について(令和6年1月~3月)
 - ①会務報告
 - ②事業実施状況報告
- (3)正副理事長及び常務理事の自己職務執行状況報告について
- (4)その他

★協議事項

- (1)令和5年度 第3次補正予算(案)について
- (2)令和5年度 事業報告(案)について
- (3)令和5年度 収支決算(案)について
- (4)監査報告について
- (5)その他

主な内容は次のとおりです。

◎報告事項

- 月別事業実績(請負)は前年度に比べ2,673,980円増の101%、(派遣)は前年度比45,302円増の100.2%となった。

◎協議事項

- 令和5年度 経常収益、配分金において、1,200,000円の増があった。インボイス制度やフリーランス新法など、厳しい状況の中で、前年並みの実績を残すことができた。
- 会員の入会促進、事業の普及啓発活動、就業先の開発・拡大、就業機会の適正化、会員組織の充実など。

以上、報告事項、協議事項を審議し承認されました。

「第2回理事会」報告 5月30日開催

★協議事項

- (1)役員候補者について
- (2)その他

主な内容は次のとおりです。

理事・監事選任選考委員会柳本富夫委員長より、理事の選考について、5月13日に委員会を開催し、選考経過などを含め報告され、林事務局長を理事として定時総会第4号議案に提出することが承認された。

「第3回理事会」報告 5月30日開催

★協議事項

- (1)常務理事の互選について
- (2)その他

主な内容は次のとおりです。

常務理事について、林理事が承認された。

安全・適正就業委員会コーナー

★令和5年度 第4回委員会 報告

令和6年3月15日(金)に開催し報告事項2件、協議事項2件を審議しました。

◎報告事項

- ・令和5年度 事故発生状況について
- ・令和5年度 安全・適正就業推進実施報告について

◎協議事項

- ・令和6年度 安全・適正就業推進計画(案)について
- ・令和6年度 安全標語の募集について

【令和5年度の事故発生状況】

事故発生状況として傷害事故5件、賠償事故10件、その他の事故1件でした。

【令和6年度安全・適正就業推進計画】

- 1 安全・適正就業委員会の開催(年4回 5月、6月、12月、3月)
- 2 安全就業推進大会の開催
- 3 安全標語の募集
- 4 安全巡回パトロールの実施(随時)
- 5 会員との懇談会の開催
- 6 事故防止の徹底と発生要因の分析

令和6年3月末で、大坂晴義委員が退任し、4月1日付で林優子事務局長が委員(副委員長)に就任致しました。

★令和6年度 第1回委員会 報告

令和6年5月17日(金)に開催し報告事項1件、協議事項3件を審議しました。

◎報告事項

- ・令和6年度 事故発生状況について(令和6年4月1日～5月15日)

◎協議事項

- ・令和6年度 安全標語の選定について
- ・令和6年度 安全就業推進大会について
- ・安全・適正就業委員会だより(第25号)の発行について

【令和6年度の事故発生状況】

傷害事故1件が発生しました。屋内清掃で清掃中化学モップで拭き掃除をしている際にモップの先が足に引っ掛かり転倒、痛みがとれないので病院に行き打撲と診断された。

※再度検査をした結果、骨折と診断されました。

【安全就業推進大会】

令和6年7月19日(金)に芸術ホールにて実施予定

【安全・適正就業委員会だより(第25号)】

6月発行予定。

【令和6年度 安全標語入選作品】

応募作品28名、72作品の中から下記の通り選ばれました。

令和6年度 安全標語入選作品決定!!

入選された皆様おめでとうございます。応募頂いた皆様ありがとうございました。

最優秀賞

「慣れこそが 思いもよらぬ 落とし穴」

布廣 英幸 会員

優秀賞

「安全は 心と身体の調和から！」

菊地 隆夫 会員

「段取りと基本動作が身を守る 常に安全忘れるな」

小川 英一 会員

「信頼は 安全な作業の 繰り返し」

齊藤 守介 会員

「ちょっとした 手抜きがまねく一大事」

竹内 鉄平 会員

研 修 風 景

機械除草安全講習会(5/10・見晴公園)
機械除草新人研修会(5/16・見晴公園)
手刈り除草新人研修会(5/23・五稜郭公園)

令和6年度の就業に向けて、各種研修会が開催されました。
真剣に研修に取り組み、お客様に喜ばれる仕事をするため、知識や技術の向上を図りました。

機械除草安全講習会



機械除草新人研修会



手刈り除草新人研修会



事務局体制

事務局の体制が変わりました。今後ともよろしく
お願いします。

事務局長	林 優子	事務局次長	桑原 一旗
主任	木村 美幸	主任	上田 美春
事務員	久保田清志	事務員	林 奏芽 (6月採用)
事務補助	氏家 美保		
退職	大坂 晴義(3月末)	対馬 絵美(4月末)	

配分金支払日

6月分	7月19日(金)
7月分	8月20日(火)
8月分	9月20日(金)

※銀行口座の変更をした場合は速やかに
事務局へ連絡をお願いします。

謹んでお悔やみ申し上げます。



弦木 清さん(86歳)
5地区5班 5月30日

衛生 委員会開催

令和6年3月18日(月)14時~
①インフルエンザ及びコロナの感染状況について
②花粉症対策について ③生活習慣病について

つ ぶ や き

第3の人生どういきるか

今年3月、古希で事務局長定年を迎えることができ5年間ですが、良い先輩、明友、知人に
恵まれ、ただただ感謝の言葉しかありません。ありがとうございました。

古希・古稀の由来は、唐代の詩人・杜甫(とほ)が読んだ七言律詩『曲江』の一節には「人生
七十古来稀」とあり、「人生を70歳まで生きるのは非常に稀(まれ)なこと」という意味で書
かれています。今では、「人生百年時代に向けて」と、100歳まで寿命が延びる可能性が
視野に入っています。

おかげさまでからだのほうは大丈夫ですが、最近ちょっと置き忘れを自覚し、脳トレ・頭の
体操のスマホゲームに挑戦しています。

シルバー人材センターで働く「新しい仕事との出会いセカンドライフのご提案がまさしく
「高齢者の生きがいの充実・地域社会への貢献が人生100年時代の道しるべ」と確信し、今
後も町会活動・民生委員活動・保護司活動等で啓発してまいります。(H.O)